

9月定例会総括質疑

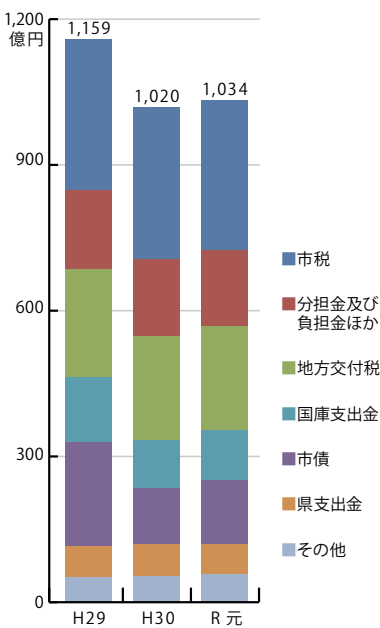
令和元年度一般会計歳入歳出決算

コロナ禍にも負けない

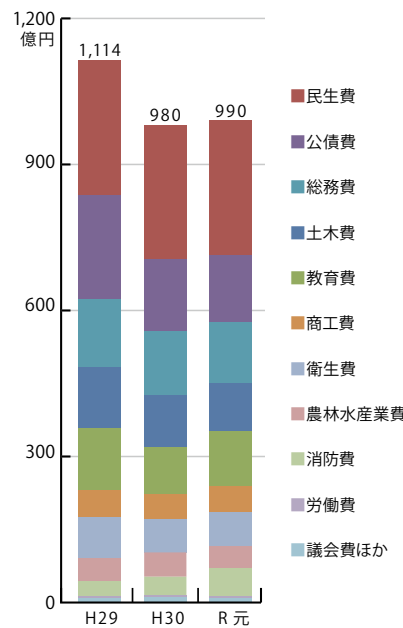
総括質疑は、市長が提出した議案に対して案件の概要と疑問点を説明するために行われます。

●決算額（一般会計）の推移●

■歳入



■歳出



令和元年度決算

歳入
約 1,034 億円

歳出
約 990 億円

消防本部新庁舎の整備やジムリーナの建設、小・中学校の空調設備の整備などにより増加し、前年度に比べ1.0%増となりました。

上越市観光交流ビジョン
新型コロナウイルス感染症の影響は？

問／令和2年4月に公表した「上越市観光交流ビジョン」について、公表直前には、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念されていた。同ビジョン公表への影響はあったのか。

答／「上越市観光交流ビジョン」は、「上越をどのような観光地域にしていくなのか」というビジョンに焦点を当て、令和2年4月に策定されました。「来訪者が市民の日常に溶け込み、楽しむ観光地域」をありたい姿に掲げ、このまちに暮らす人々が日常にある、楽しさ、豊かさ、地域の魅力に思いを向け、それを自らの言葉で来訪者に伝え、一緒に楽しむを共有することが、自然に行われている地域を目指しています。

答／「上越市観光交流ビジョン」は、社会状況の変化の中でも変わらない「観光」の基本であり、コロナ禍における観光の形として注目されている、身近な地域に目を向け、域内交流を楽しむ「マイクロツーリズム」に通ずるものであるため、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案した上で、同ビジョンに変更を加えず、公表した。市民の方々には、令和2年4月1日号の広報上越でお知らせし、新型コロナウイルス感染症の影響により予定を変更したが、同ビジョンの市民説明会を8月に市内4会場で実施した。また、同ビジョンの土台となる「観光マインドの底上げ」の取組の一つとして、SNSによるフォトコンテストを実施した。